

1. 経営発達支援事業

項目	実施事業	事業内容	本年度目標a	実績(4月～1月)b	目標達成度(b/a)	外部評価	実績の内訳	自己評価	今後の計画等
I 地域の 経済動 向調 査	①「小規模企業景気動向調査」の実施	○対象:5業種(製造業、建設業、小売・卸業、サービス業) ○調査方法:毎月巡回 ○調査内容:対前年同月比「売上額」、「仕入単価」、「採算」、「資金繰り」、「業界の業況」の5項目について調査し、整理・分析を行う。	12回	10回	B	予定通りに実施されており、年度内に目標達成が見込まれる。	①「小規模企業景気動向調査」 ○調査結果の報告 ・県商工会連合会で県内各商工会から報告した結果をまとめた月単位での「小規模企業景気動向調査報告書」を発行 ・物価高騰の影響についても4月の理事会にて係る影響確認を行った。 ・森町商工会会員への周知(商工会HP) ・その後の経営計画書作成等支援への活用	・管内小規模事業者の景気の動向を行い現状把握に務めると共に、県商工会連合会が集計した静岡県下の景況DIIについて、森町商工会ホームページに掲載し周知した。 ・また、物価高騰対策に関連して森町役場からの助成金を活用した森町商工会版「コスト削減補助金」の実施につなげたほか、静岡県の物価高騰支援補助金の情報提供に努めた。	・今後も継続して現況の把握及び今後に向けての課題の抽出を行い、次の各種施策の提案につなげていく。
	②「他の支援機関が公表する景気動向調査」の活用	○機関:日本政策金融公庫 ○調査:景況レポート(四半期ごと)	4回	3回	C	①「小規模企業景気動向調査」の実施での調査結果を活用しつつ、森町の景気動向について現場感覚を盛り込んだ分析、活用が求められる。	②「日本政策金融公庫が公表する景気動向調査」 ・上記調査と合わせ、その後の経営計画書作成等支援への活用		
II 経営 状況 の分 析	①対象者の掘り起こし	○経営状況の分析の必要な小規模事業者を抽出。	40件	小規模事業者 400件	A	対象者の掘り起こしについてはチラシ配布だけでなく窓口や巡回も含まれる。よって、経営状況の分析件数とそこまで至らなかったものの掘り起こしを行った件数を含めるのが妥当と思われる。	①対象者の掘り起こし 森町中小企業者等産業振興支援事業(創業・事業承継補助金及び動画制作補助金)を実施するに当たり当会会員事業所中、町内に事業所等を有する446件を対象にチラシ等で広報し掘り起こしにつなげた。 (小規模事業者は400件)	・森町中小企業者等産業振興支援事業(創業・事業承継補助金及び動画制作補助金)の活用により、これまで経営計画書策定の経験がなかった11件の小規模事業者の掘り起こしにつなげた。 ・また、商工会へ加入した者が4件、新規に創業した者が2名と成果を上げた。	
	②経営状況の分析	○定量分析(税務)や定性分析(SWOT)等による分析。	30件	小規模事業者 51件	A	また、経営状況の分析についても次項目の事業計画の策定支援者数は当然含まれるので採択者だけでなく申請者を含める等、実績のカウント方法の再検討が望ましい。	②経営状況の分析 上記のうち51件(事業承継23件、創業15件、動画13件)が事業申請を希望したため現状分析を実施した。(小規模事業者は45件) ③その他 申請総数:51件 商工業者:51件 うち非会員:4件(うち創業者:2件)		・今後もタイムリーな情報提供及び小規模事業者の経営分析をとし、経営計画書の作成等につなげていく。
III 事業 計画 策 定 支 援	①事業計画の策定支援	○既存事業者を対象に事業計画の策定を支援する。	事業計画策定数 25件	事業計画策定数 小規模事業者 延べ57件	A	目標を大きく上回っており、特に経営革新計画に係る支援が4件ある点は高く評価できる。好事例については定性的な報告や反省を行い今後の参考にしていくことが期待される。	○事業計画策定 ①森町版補助金:51件 (うち小規模事業者45件) ②静岡県経営力向上事業費補助金 第1回～第3回:3件 翠清、小倉商店、山口園 ③小規模事業者持続化補助金 【一般型】第7回～第10回:5件 (株)アマガタ、(有)小林モーター 宮田治療院、(株)つちやせいか (有)宮崎モーター ④経営革新計画策定支援:4件 朝日製粉、(株)福神、(有)鈴沼技研 ソーイングミクラ	・「経営状況の分析」を行った51件のうち45件の小規模事業者事業者の補助金申請に係る計画策定申請にこぎつけた。 ・経営状況の分析対象ではなかった者についても、静岡県あるいは国の補助金を希望した者についても計画策定支援を行い全員が採択された。 ・令和3年度の経営力向上補助金採択者3名及びものづくり補助金を希望する者1名に対し経営革新計画の策定支援を行い、いずれも県の承認を得た。	
		●創業を目指す者、創業間もない者を対象に事業計画の策定を支援する。	創業計画策定数 10人	創業計画策定数 25人	A	計画を大きく上回っており高く評価できる。	●近隣商工会団体との広域連携「創業塾」 実施日:4年11月5日、12日、19日、26日 12月3日、7日の6回でいずれも(土) (1回目と6回目:13時から16時) (上記以外:13時から15時) 会場:磐田市商工会 主催:磐田市、浅羽町、森町の3商工会 受講者:12名(うち森町4名) 講師:中小企業診断士 五島宏明氏 ●個別相談会(単独開催) (1)実施日(会場:森町商工会) ①4年12月17日(土)10時～12時:相談者:0名 ②5年 2月11日(土)10時～12時:相談者:0名 (2)広報 ①新聞折り込み、集合チラシ (3)上記個別相談会以外(4月から1月の間) 相談者:8名(創業希望者7名、間もない者1名) (4)森町創業・事業承継補助金のうち創業枠採択者13名に対する創業(事業)計画書策定支援	●創業塾 ・中遠地域において、創業を検討している者や創業間もない者を集約して総合講座を開催することで、効率的・効果的に支援を図ることができた。 ・受講者にとっても、創業に必要な基礎知識の取得とともに、必要なビジネスプランの作成方法等を具体的に学べる機会として、6日間という密度の濃い講座を通し起業・創業がより現実化したものと思われる。 ・今回の受講者のうちは森町から4名受講した。 (創業間もない者2名、創業予定者2名) ●個別相談会 ・単独開催の個別相談会では、2回とも相談者ゼロであったが、それ以外で8名の相談者の対応を図った。 ○森町創業・事業承継補助金のうち創業枠採択者13名の創業(事業)計画書を策定した。	・今後も3商工会連携による講座の開催や商工会単独による相談を継続していく。
IV 事業 計画 策 定 後 の 支 援	③事業計画策定後の支援	○既存事業者向けフォローアップ	25件	小規模事業者 延べ56件	A	補助金採択者と経営革新計画承認者を実績としてカウントし目標を大きく上回っている。必要に応じて過去に採択された事業者に対するフォローも継続されるべきであり当然実績となる。	○補助金の採択を受けた以下の者を対象に実施。 ①森町版3補助金 (51件のうち小規模事業者45件) ②経営力向上事業費補助金(3件) ③小規模事業者持続化補助金(3件) ④経営革新計画承認企業(5件)	・補助金採択者に対し、既に事業を完了した者に関して事業完了に向け個別の対応によりフォロー及び報告書策定支援を実施した。 ・経営革新計画の承認を得、事業期間中である5件に対しフォローアップ調査を行うなど対応した。	・今後も継続してフォローアップに務めていく。
		○創業を目指す者、創業間もない者向けフォローアップ	15人	14人	B	創業者においては計画の策定だけでなく創業を前後して様々な支援ニーズがある。それらへのきめ細かいフォローが求められる。	○森町創業・事業承継補助金のうち創業枠採択者13名に対し、補助金採択後以降創業(事業)計画書策定支援を行い策定にこぎ着けた。 ○3商工会合同の創業塾を受講した4名のうち日本政策金融公庫の創業貸付を希望する者に1名に対し創業計画書策定支援を行い貸付を実行した。	・創業(事業)計画書の策定を具現化するためワンストップ相談窓口にて実行支援を行い全員の策定を支援した。	・今後も継続した支援を講じていく。

項目	実施事業	事業内容	本年度目標a	実績(4月～1月)b	目標達成度(b/a)	外部評価	実績の内訳	自己評価	今後の計画等
V に 新 奇 た な す る 要 事 開 業 拓	①販売機会情報提供と出店支援	○販路開拓支援のための県内外での展示会や販売会などの情報提供、出展支援	40件	述べ19件	D	目標を下回ったが、コロナ禍で開催件数や規模が縮小されておりやむを得ない側面があった。取り組みに対する努力が見受けられる。	○県連販路開拓支援事業 2件 (石田茶店、松浦製茶) ○県連チャレンジショップ 出品 3件 (中島屋、花ぎょうざ、レッカーランドフカワ) ○販売促進支援事業 5件 石田茶店:西武池袋本店 鈴精機:東京ビックサイト 石川園:静岡茶フェスティバル(掛川) 中島屋:岩崎製茶主催催事(静岡市) 松浦製茶:おもてなしプロジェクト(浜松アクト) ○県連逸品サイト商品掲載 9件 (田米陶房、花ぎょうざ、中島屋、菓匠あさおか、おさだ製茶、八幡屋茶舗、松浦製茶、石田茶店、レッカーランドフカワ)	・県連販路開拓支援事業を活用し販路開拓への支援を講じると共に静岡伊勢丹のチャレンジショップ(県連運営)に3件が出品した。また、県内外で開催される催事等へ出展した事業者の係る経費の一部助成を実施。	・今後も県内外で開催される催事等に出店し販路開拓等に資する活動を行う会員企業を支援していく。

2. 地域の活性化に資する取り組み

I 地 域 経 済 活 性 化 に 資 す る 取 組 み	①地域経済の活性化に資する取組み	①森町創業者支援会議への出席	年2回	現在未実施	E	目標の年2回にはとどかないが、今年度中に1回開催が見込まれており出席が望ましい。	【予定】 ○開催日 令和5年3月中に開催予定 ○会場 森町町民生活センター ○出席者 静岡銀行、浜松磐田信用金庫、遠州中央農協、信用保証協会、よるず支援拠点、日本政策公庫 ○内容 商工会が実施した ・ワンストップ相談 ・創業講座 ほか意見交換	—	○今後開催の予定
	②「遠州森町次郎柿ワイン」ブランド化事業	②「遠州森町次郎柿ワイン」ブランド化事業	会議の開催2回	会議の開催2回	A	目標どおり2回開催された。	○製造販売23年を迎えた令和4年度、町内15の酒販店で約2,800本を12月24日より販売。今回の製造本数は前年の約130%増であった。	—	○令和5年度の事業に向け、静岡県西部しんきん地域振興財団所管の「地域活動助成金」を4年度に続いて申請。申請補助金額は390,000円で、採択の結果は4月上旬ごろに発表予定。 事業名:「遠州森町次郎柿ワイン」事業を通じた地場産業振興活動」

3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援能力向上のための取り組み

II 経 営 指 導 員 等 の 資 質 向 上 等 に 関 す る こ と	② 森町商工会が小規模事業者の期待に応える経営発達支援事業を行うため職員教育研修を実施する。	○スキルアップ研修	回数：2回	回数：2回	A	DXをテーマに実施された。経済のデジタル化が伸展する中で、まずは商工会がDXに取り組んでいくことが求められている。	●1回目 ・実施日：令和4年10月13日(木) 13時00分から15時00分 ・講師：中小企業診断士 北川裕章氏 ・受講者：職員5名(平田、横田、大澤、長谷川、平野) ・テーマ 「小規模事業者のDX化 ～入門編～」 ●2回目 ・実施日：令和5年2月24日(金) 13時00分から15時00分 ・講師：中小企業診断士 北川裕章氏 ・受講者：職員6名(松下、平田、横田、大澤、長谷川、平野) ・テーマ 「小規模事業者のDX化 ～入門編Ⅱ～」	・北川診断士を講師に招き昨今活用等が進むDXをテーマに学習した。 ・主な内容は、1回目が大局的な視点からDX化が進む環境が整ってきていることに加え、期待される効果等を学習。2回目は小規模事業者の取組事例や支援を講じるためのアプローチ方法などを学習した。	・今後も職員のスキルアップを図るため継続して実施していく。
	○支援ノウハウ共有 ①職員ミーティングの開催 ②データの一元管理	○支援ノウハウ共有 ①職員ミーティングの開催 ②データの一元管理	—	—	—	継続した取り組みがされており職員の支援能力の向上に役立っている。	①職員ミーティングの開催 毎週月曜日朝礼開催 ②データの一元管理 巡回データを月報として適宜供覧	①職員ミーティング 研修会等に出席した際には、復命書のほかワンポイント的に報告等を行い、意見交換や情報共有につなげている。 ②データの一元管理 県連のシステム(商エイントラ)にて、指導に係るデータを一元管理しており、相談履歴の共有を図っている。	①職員ミーティングは、今後も継続していく。 ②データの管理等について、今後も継続して商エイントラを活用していく。